

2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 コムシード株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3739 URL <https://www.commseed.net/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長CEO （氏名）塚原 謙次
 問合せ先責任者 （役職名）コーポレート本部長 （氏名）吉田 篤史 TEL 03-5289-3111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	416	△24.6	△50	—	△51	—	△35	—
2026年3月期第1四半期	551	△20.8	25	△43.3	24	△49.0	9	△73.8

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 △40百万円（—％） 2026年3月期第1四半期 1百万円（△93.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△2.63	—
2026年3月期第1四半期	0.67	0.67

（注）2027年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,389	759	53.5
2026年3月期	1,517	797	51.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 743百万円 2026年3月期 784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,100	1.2	3	△93.9	1	△98.3	0	△100.0	0.00
通期	3,000	21.2	240	71.3	230	57.3	210	112.5	15.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

詳細は、添付資料P3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	13,511,416株	2026年3月期	13,511,416株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	148株	2026年3月期	148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	13,511,268株	2026年3月期1Q	13,481,168株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高416,235千円（前年同四半期比24.6%減）、営業損失50,946千円（前年同四半期は営業利益25,215千円）、経常損失51,120千円（前年同四半期は経常利益24,822千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失35,476千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益9,010千円）となりました。

なお、前連結会計年度までは「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」を報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、「モバイル事業」の単一セグメントに変更しております。

当第1四半期は、今後の収益拡大に向けた新規タイトルの開発、およびバーチャルホール領域におけるユーザー基盤拡大のための戦略的投資を先行して実行する期間と位置付けて事業を展開いたしました。売上高および利益につきましては、ソーシャルゲームサービスは堅調に推移したものの、主力である有料ゲームアプリにおいて当第1四半期は新規タイトルの配信を行わなかったこと、また上記の先行投資を実行したことにより、前年同四半期比で減収・損失計上となりました。なお、通期の見通しにつきましては下期偏重の計画であり、第2四半期以降につきましては、前期（5本）を大幅に上回る年間8本以上の新規タイトルの配信を順次予定しているため、業績は期初の想定通りに進捗しております。

当社が展開するモバイル事業におけるサービス分野別の主な取り組みは以下のとおりであります。

①有料ゲームアプリ

当第1四半期は、第2四半期以降にリリースする複数の新規タイトルにおける開発およびリリース準備を進行了しました。新規タイトルの配信がなかったこと、および既存タイトルの収益貢献の落ち着きも重なり前年同期比では減収となりましたが、第2四半期以降より順次新規タイトルを販売していくことから、通期では大幅な増収増益を見込んでおります。

②ソーシャルゲーム

当分野の収益の中核を担うバーチャルホール領域につきましては、前年同四半期は主力サービス「グリパチ」を中心とした単一タイトルでの展開でしたが、前年第3四半期に第2のバーチャルホール「スロパチスピリット」を加えたことで、現在はこれらを両輪とする「バーチャルホール領域」へと事業を拡大しております。この2タイトル体制への移行により、幅広いユーザー層の獲得と両サービス間のクロスマーケティングを有機的に推進しております。また、利益面におきましては、認知向上およびユーザー基盤拡大に向けた戦略的な先行投資を積極的に実行する一方で、両サービスにおいて外部決済サービス（アプリ外課金）の導入を進めた結果、プラットフォーム決済手数料の削減が実現し、利益率の向上に寄与しております。なお、当社が推進する「ワンソースマルチプラットフォーム展開」による海外へのアプリ提供や、その他のソーシャルゲームにつきましても、引き続き堅調に推移しております。

③受託開発および運營業務

子会社である株式会社アイビープログラムの案件を中心に、ストック型案件、フロー型案件ともに想定通りに推移しております。

④広告事業

ソーシャルゲーム内の広告及び無料広告モデルのゲームを提供し、堅調に推移しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は1,389,549千円（前連結会計年度末比127,685千円減）となりました。

流動資産では892,686千円（同228,392千円減）となりました。これは主に現金及び預金、売掛金の減少によるものです。

固定資産では496,862千円（同100,706千円増）となりました。これは主に投資その他の資産の増加によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は630,400千円（同89,058千円減）となりました。

流動負債では489,787千円（同78,682千円減）となりました。これは主に買掛金、契約負債、その他の減少によるものです。

固定負債では140,613千円（同10,375千円減）となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は759,148千円（同38,626千円減）となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、売上高3,000,000千円（前期比21.2%増）、営業利益240,000千円（同71.3%増）、経常利益230,000千円（同57.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益210,000千円（同112.5%増）を見込んでおり、2026年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。当第1四半期の業績は一時的な減収および損失計上となっておりますが、期初の想定通り進捗しております。これは主力事業である有料ゲームアプリにおいて、第2四半期以降より前期（5本）を大幅に上回る年間8本以上の新規タイトルの配信を順次予定しているためであり、当期は下期偏重の業績予想としております。

当連結会計年度におけるパチンコ・パチスロ市場におきましては、市場の主力となった「スマートパチスロ（スマスロ）」^{※1}の普及加速を背景に市場全体の活性化が続いており、当社の主力領域であるバーチャルホールサービスおよび有料ゲームアプリに対する需要が大幅に高まる環境が整っております。当社はこの好機を確実に取り込み、注目度が高い有料ゲームアプリの積極的な投入を進めるとともに、バーチャルホール領域においては強固な2タイトル体制を軸としたユーザー基盤の拡大・収益性の向上を推進してまいります。

^{※1}メダルや玉に直接触れずに電子情報で遊技を行う「スマート遊技機」。ホールの省力化や不正防止、高い遊技性能を実現し、現在のパチンコ・パチスロ市場の牽引役として導入が急速に進んでいる。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	699,836	518,653
電子記録債権	9,500	9,300
売掛金	299,700	217,426
棚卸資産	20,535	39,648
その他	97,668	112,147
貸倒引当金	△6,161	△4,489
流動資産合計	1,121,078	892,686
固定資産		
有形固定資産	12,254	12,756
無形固定資産		
ソフトウェア	205,147	190,645
その他	685	685
無形固定資産合計	205,833	191,331
投資その他の資産		
その他	178,068	292,774
投資その他の資産合計	178,068	292,774
固定資産合計	396,155	496,862
資産合計	1,517,234	1,389,549
負債の部		
流動負債		
買掛金	156,073	130,298
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	40,404	40,404
契約負債	85,935	68,263
引当金	3,920	1,070
その他	132,137	99,751
流動負債合計	568,470	489,787
固定負債		
長期借入金	120,694	110,593
役員退職慰労引当金	18,427	18,427
退職給付に係る負債	6,198	6,198
その他	5,669	5,394
固定負債合計	150,988	140,613
負債合計	719,459	630,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,205,451	1,205,451
資本剰余金	636,560	636,560
利益剰余金	△1,071,616	△1,107,092
自己株式	△53	△53
株主資本合計	770,342	734,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△5,446
為替換算調整勘定	13,987	13,999
その他の包括利益累計額合計	13,987	8,552
新株予約権	13,445	15,729
純資産合計	797,775	759,148
負債純資産合計	1,517,234	1,389,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	551,773	416,235
売上原価	373,167	324,134
売上総利益	178,606	92,101
販売費及び一般管理費	153,390	143,048
営業利益又は営業損失(△)	25,215	△50,946
営業外収益		
受取利息	448	99
受取賃貸料	1,555	—
貸倒引当金戻入額	—	1,672
その他	767	92
営業外収益合計	2,772	1,864
営業外費用		
支払利息	2,737	1,466
その他	428	572
営業外費用合計	3,166	2,038
経常利益又は経常損失(△)	24,822	△51,120
特別利益		
新株予約権戻入益	—	633
特別利益合計	—	633
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,822	△50,487
法人税、住民税及び事業税	14,844	1,182
法人税等調整額	967	△16,193
法人税等合計	15,811	△15,010
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,010	△35,476
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,010	△35,476

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	9,010	△35,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△5,446
為替換算調整勘定	△7,256	12
その他の包括利益合計	△7,256	△5,434
四半期包括利益	1,754	△40,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,754	△40,911

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

「II 当第1四半期連結累計期間（報告セグメントの変更等に関する事項）」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「モバイル事業」及び「ブロックチェーン事業」の2つの報告セグメントに区分しておりましたが、「ブロックチェーン事業」については整理・撤退が計画通りおおむね完了したことを踏まえ、当社グループの事業展開と経営資源配分的意思決定プロセスの実態を適切に反映するものと判断し、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「モバイル事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更により、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	6,917千円	15,308千円

(重要な後発事象の注記)

(資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分)

当社は、2026年5月14日開催の取締役会並びに2026年6月23日開催の第35回定時株主総会における決議に基づき、2026年7月31日を効力発生日として、資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を実施いたしました。

1. 資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、現在生じている繰越利益剰余金の欠損を填補し、財務体質の健全化を図ると共に、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保し、配当実施の早期化を目的として会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少させ、これらをその他資本剰余金に振り替えると共に、会社法第452条の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、増加後のその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替えて、繰越利益剰余金の欠損補填に充当するものであります。

2. 資本金及び資本準備金の額の減少の内容

(1) 減少する資本金及び資本準備金の額

資本金の額の1,205,451,673円のうち、1,155,451,673円を減少し、50,000,000円といたしました。

資本準備金の額の636,560,806円のうち、586,560,806円を減少し、50,000,000円といたしました。

(2) 資本金及び資本準備金の額の減少の内容

発行済株式総数の変更は行わず、会社法第447条第1項及び会社法第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額を減少させ、その全額をその他資本剰余金に振り替えました。

3. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当いたしました。これにより、当社の繰越利益剰余金の欠損が解消されました。

(1) 減少した剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金1,133,166,370円

(2) 増加した剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金1,133,166,370円

4. 日程

- | | |
|-----------------|------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2026年5月14日 |
| (2) 株主総会決議日 | 2026年6月23日 |
| (3) 債権者異議申述公告日 | 2026年6月29日 |
| (4) 債権者異議申述最終期日 | 2026年7月30日 |
| (5) 効力発生日 | 2026年7月31日 |